

県内市町村のうち、Q1回答が「あり」の市町村のQ2～Q17

	Q2 指標の名称	Q3 指標を作成するに至った経緯	Q4 指標を作成するにあたって行った調査	Q5 指標の分類				Q6 指標に関する条例・構想等	Q7 設定している目標と指標との関係			Q9 指標調査の調査項目・調査方法	Q10
				水質	水量	生態系	水辺		指標設定の目的	目標	指標		
名古屋市	水質汚濁に係る環境目標値	・平成15年3月、名古屋市公害防止条例を全面改正し、「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」を制定 ・名古屋市公害防止条例第7条に規定されていた環境目標値も条例の全面改正にあわせ、名古屋市環境基本条例に基づくものとした。 ・「市民の健康を保護し、及び快適な生活環境を確保する上での維持される目標値」として30年ほど前に設定されていたが、当時とは環境問題も大きく変化しており、市民の環境に対する関心が高まっている中で、新しい環境目標値が必要となった。 ・平成17年7月、新しい環境目標値を告示	・過去の水質、生物調査データの収集・解析 ・新しく水質項目に加わった「ふん便性大腸菌群数」等の水質調査の実	○	○	○	○	なごや水の環(わ)復活プラン(現在策定中)	市内全公共用水域における健康項目及び親水イメージ別に定める生活環境項目等及び親しみやすい指標(透視度、水の色、水量、ごみ、生物指標)の基準の達成	河川・ため池・海の水域ごとに、「川に入っの遊びが楽しめる(川のみ)」「水際の遊びが楽しめる」「岸辺の散歩が楽しめる」のうちいずれかの目標を設定	pH,BOD,COD,SS,ふん便性大腸菌群数、T-N,T-Pのうち、いくつかを組み合わせて作成 透視度 水の色、水量、ごみ、生物指標)の基準の達成	(水質目標値) pH,BOD,COD,DO,SS,T-N,T-P、ふん便性大腸菌一法定法/行政 (親しみやすい指標) 透視度一法定法/市民 (親しみやすい指標) 水の色、水量、ごみ一法定法/市民 (親しみやすい指標) pH,COD一法定法/市民	1 1 1
日進市	河川のBOD平均値	環境基本計画を策定する中で指標を定めた	専門業者による河川水質調査	○			○	日進市環境基本計画、日進市環境まちづくり基本条例	河川水質の向上	BOD平均値の向上	BOD平均値≤5mg/l	河川BOD一専門業者に委託	1
東郷町	境川のBOD環境基準の早期達成及び川のきれいさの満足度プラス1	環境基本計画の1項目として、水質汚濁の防止を目的に作成。	なし	○				東郷町環境基本計画	河川水質汚濁の防止	BOD環境基準の早期達成	3mg/l以下	河川水質調査(民間委託)	1
春日井市	環境基準達成率:「生活環境」に関する指標	平成14年3月に春日井市環境基本計画を策定し、本計画の中で目標の達成状況を表す指標として6項目の数値を定め、「水環境」に関しては河川と地下水の環境基準に関する指標を定めている	公共用水域及び地下水の水質測定計画に基づいた調査を実施した。	○				春日井市環境基本計画	水質の保全	達成率100%を目指します。	庄内川におけるBOD、その他の河川におけるBOD、全河川における健康項目(26項目)	(河川)BOD及び環境基準健康項目(26項目)一法定法一行政	1
											地下水における健康項目(26項目)	(地下水)環境基準健康項目(26項目)一法定法一行政	1
江南市	水質に係る環境基準の達成を目指します	江南市環境基本計画において指標を作成		○				江南市環境基本計画	水質汚濁の防止	水質に係る環境基準の達成を目指します	生活環境の保全に関する環境基準値(河川)	pH,BOD,SS,DO一法定法一委託	1
	木曾川のクリーン作戦参加者数	江南市環境基本計画において指標を作成					○	江南市環境基本計画	親しめる水辺空間の整備	木曾川の河川クリーン作戦の参加者数 ※H17年度より「川と海のクリーン大作戦」に名称変更	平成23年度目標値 2,000名以上		
	多自然型工法による河川整備の延長距離	江南市環境基本計画において指標を作成				○		江南市環境基本計画	生態系の保全と復元	多自然型工法による河川整備の延長距離	平成23年度目標値 青木川 791m 般若川 213m		
東海市	下水道普及率	急速に変化する社会経済情勢の変化等に的確に対応して、市民の方々が安全で快適に暮らせるよう「第5次総合計画」を策定した。その施策の一つの「生活排水を適切に処理する」の中で、水質を監視するため指標を作成したもの。	第5次総合計画策定において、市民参画の手法で、市民アンケート及び平成13年度の基準値に基づき、5年後、10年後のめざそう値を示したもの(水環境指標は、平成13年度測定数値)	○				第5次東海市総合計画	下水道の早期整備を図る	下水道普及率を伸ばす	5年後51%、10年度67.5%	下水道普及率一行政	1
	河川のBOD濃度								放流水質を向上させる	河川、海の水質の監視・改善	河川のBOD 5年後 10mg/l、10年度7mg/l	河川のBOD濃度一法定法一委託業者(17年度まで行政)	1
	海のCOD濃度										海のCOD 5年後 2.8mg/l、10年度2.5mg/l	海のCOD濃度一法定法一愛知県のデータを参照	1
豊橋市	処理水の再利用	総合動植物公園整備事業の設計段階で園内の処理水の再利用を計画し現在に至る。	動物園の敷地面積に対してのトイレ、売店、飼育動物数、獣舎面積、放飼場面積等の総合調査後処理能力を決めました。	○	○			なし	中水利用の促進	昭和45年建設した獣舎改修に伴い中水利用の拡大			

県内市町村

Q10 指標調査の頻度	Q11 指標調査の対象とする地域・範囲	Q12 調査地点数や位置の決め方 1:地点数・位置を固定 2:地点数のみを固定 3:ともに固定していない	Q13 アンケート調査のアンケート票数、サンプル選び方	Q14 市民による調査の募集方法・参加人数	Q15 市民調査員への指標調査方法の説明法	Q16 指標調査結果の公表先	Q17 その他アピールできる点、苦労した点
名古屋市 (水質目標値)月1回 (親しみやすい指標)年4回 (親しみやすい指標)年4回 (親しみやすい指標)年4回	名古屋市内の河川、ため池、海域	1 河川—基本的に最下流部の橋—地形、水質の状況ため池—面積の大きいもので代表的な池	実施していません	募集方法—広報紙、ホームページ等 参加人数—35グループ、190人	調査マニュアルを定め、説明会を実施	「公共用水域及び地下水の常時監視結果」の公表にあわせて、年度の公表を行っている。また、市民が行ったものについては、年4回ホームページにてその都度公表している。	「親しみやすい指標」について、平成17年10月より市民にモニターとして河川、ため池についてモニタリングを行っていただいています。水におい、水量、ごみ、水の色といった感覚的な指標を用いたため、水質調査結果をまとめるにあたって、どのようにまとめるのか、非常に苦労した。
日進市 毎年	市内天白川流域全域	1 継年調査により比較する	なし	なし	なし	日進市環境基本計画 http://www.city.nisshin.lg.jp/sumai/gomi_kankyo/kankyo_kihon.html	なし
東郷町 年3回	境川(四ツ塚)地域	1	なし	なし	なし	なし	なし
春日井市 河川はBOD年4～12回、環境基準健康項目(26回)年2回 地下水は環境基準健康項目(26項目)年1回	(河川)庄内川水系12地点、新川水系5地点 (地下水)市内2地点	1 河川 2 地下水 (考え方)河川については、経年変化を考察するため、地点を固定している。地下水については、市内を5kmメッシュに区切った範囲内で地点を固定し、毎年新規の地点を調査している。	実施なし	実施なし	実施なし	環境調査報告書、市ホームページ http://www.city.kasugai.aichi.jp/kanykou/kankyou/mizu/kasen16.html	なし
江南市 年4回	市内主要河川(般若用排水、昭和用排水、青木川、日光川、五条川、木曾川)	1 14地点					
東海市 毎年		1					
毎年	大田川大宮橋						
毎年	名古屋港(甲)N-2						
豊橋市			していません。	していません。			